



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization



San'in Kaigan
UNESCO
Global Geopark

かぶと山から望む久美浜湾と小天橋

かぶと山登山コース

久美浜湾は、小天橋と呼ばれる砂州によって日本海と隔てられた潟湖です。久美浜湾の中央部にそびえる火山岩の残丘「かぶと山」に登り、雄大な日本海と、海流が作り出した独特な景観を楽しみましょう。



かぶと山は久美浜湾にポツリと浮かぶ島のような山。191.7mの標高は決して高くはありませんが、周囲を久美浜湾に囲まれているため、頂上からの眺めはバツグンです。

クイズ!

久美浜湾で養殖されている冬の味覚といえば？
正解は裏面を読んでね!!

基本コース

- スタート *時間は徒歩
- 丹鉄 かぶと山駅 35分 ↓ 約2km
 - ①かぶと山公園 17分 ↓ 約700m
 - ②人喰岩 2分 ↓ 約100m
 - ③熊野神社 2分 ↓ 約100m
 - ④かぶと山展望台 30分 ↓ 約1.7km
 - ⑤甲山寺(こうさんじ) 14分 ↓ 約700m
 - 丹鉄 かぶと山駅
- 総移動時間1時間40分
全行程約5.3km

ショートコース

- スタート *時間は徒歩
- ①かぶと山公園 17分 ↓ 約700m
 - ②人喰岩 2分 ↓ 約100m
 - ③熊野神社 2分 ↓ 約100m
 - ④かぶと山展望台 19分 ↓ 約900m
 - ①かぶと山公園
- 総移動時間40分
全行程約1.8km

プラスオプションコース

- スタート *時間は徒歩
- ⑤甲山寺(こうさんじ) 15分 ↓ 約800m
 - ⑥塚の鳴古墳 8分 ↓ 約500m
 - ⑦ハス池 16分 ↓ 約1km
 - 丹鉄 かぶと山駅
- 総移動時間2時間5分
全行程約6.9km
(基本コースに追加して)

凡例

- トイレ
- 足元注意
- 駐車場
- 交通安全確認
- 食事
- 田
- 畑
- 果樹園
- 説明看板
- 基本コース
- 道順
- ショートコース
- プラスオプションコース
- 撮影スポット

久美浜遊覧船乗り場
(要予約:0772-82-0045)

船長が久美浜湾の歴史や文化、自然についてガイド案内します

美しい自然を守るため、石や植物は観察するだけにしましょう。
危険な場所や立ち入り禁止の場所には入らないようにしてください。
持って帰るのは楽しい思い出と写真、そして地元のおみやげ!!



山陰海岸ジオパーク散策モデルコース

初版:2013.1.29
最終更新日:2016.3.31

みどころいっぱい久美浜 かぶと山

① かぶと山公園



広々とした芝生広場。久美浜湾を眺められるキャンプ場もあります。家族連れやグループでのアウトドアも楽しめます。
(問) キャンプ場: 0772-83-1457 (営業期間: 4~11月・要予約)

② 人喰岩



かぶと山の南側には、赤茶色の岩がみられます。この岩は「人喰岩」と呼ばれ、昔、ある若者が村人を食う岩から、嫌いなものを聞き出し、その一番きれいな赤土を岩の口に詰めたという伝説が地元で伝えられています。

③ 熊野神社



丹波道主命(たんばのみちのうしのみこと)と川上摩須郎女(かわかみのますのいらつめ)の娘が垂仁天皇の后になったことを喜び、祖父の川上摩須(かわかみのます)によって建立されたといわれています。古来、かぶと山は山自体が御神体として崇められています。

④ かぶと山展望台



かぶと山(標高191.7m)の頂上には、かぶと山展望台が整備されています。ここから見る久美浜湾と小天橋、そしてその北に広がる日本海の景色は絶景です。小天橋(しょうてんきょう)は、松が横一文字に並ぶ姿が、「天橋立(あまのはしだて)」のように見えることに由来しています。

⑤ 甲山寺



天平8年(736年)行基開山といわれる古刹で、本尊の阿弥陀如来像は行基作といわれています。また、庫裏にある不動明王像は弘法大師によるものとされています。

⑥ 塚の鳴古墳



ハス池のすぐ近くにある塚の鳴古墳は、古墳時代後期の両袖式の横穴式石室を持つ円墳です。古墳は周囲に広がる古砂丘上に作られています。

⑦ ハス池



ハス池はかぶと山の東にある池で、かつての川上谷川の氾濫原が取り残されたものです。池にはフナやコイ、ナマズなどが生息している他、葦やハスなどの植物も多くみられます。

番外…久美浜湾



久美浜湾は日本海との間を小天橋と呼ばれる長い砂洲で遮られた汽水の潟湖です。冬の北風によって日本海が荒れているときでも、湾内は波穏やかで、オオハクチョウやコハクチョウの越冬の地になっています。

ジオコラム①

兜山(かぶとやま)

兜山は、海拔191.7mで、昔、武士がかぶった兜(かぶと)に似たドーム状の山です。2,000万~1,500万年前に、石英をつくるケイ酸という成分が多く、粘り気の強いマグマが突き上げてきて固まりました。

こうしてできた岩石の中の固い部分が、削り残されて山になったのが兜山です。同じようにしてできた山が、いくつも久美浜湾を取り囲んでいます。

兜山の南側の山腹にある「人喰岩」は見晴らしの良い眺望ポイントで、地元のお酒の銘柄にもなっています。岩石中の金属成分が酸化して(錆びて)赤くなった部分が大きな口に見えることからつけられたのでしょう。毎年8月9日の千日会観光祭には、大文字が点灯され、中腹に「大」の字が浮かびあがります。頂上の展望台から見る小天橋(砂洲)の眺めは、絶景です。



久美浜、浜公園から見た兜山。「大」の字がわかるかな?



兜山周遊道から見上げた「人喰岩」



兜山の対岸にある如意寺岳(164m)。これもかぶとの形に似ていますね!



長い年月を経て、溶岩ドームが点線部分まで侵食されて兜山になりました。



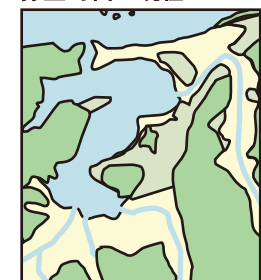
ジオコラム②

久美浜湾の形成と小天橋

現在の地図



弥生時代~現在



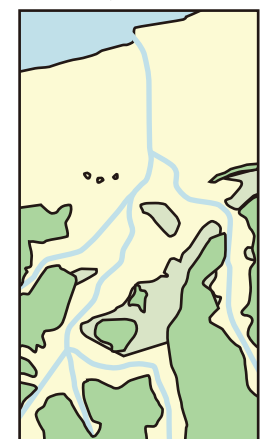
約2,500年前、やや涼しくなった弥生時代に現在の地形になりました。

約6,000年前(縄文時代)



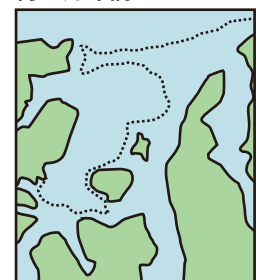
1万年前から始まった温暖な時期です。海面が現在より少し高く上昇し、沿岸流で運ばれた砂で砂洲が成長して小天橋ができ、久美浜湾が形成されていきました。

約2万年前(最終氷期の最も寒冷な時期)



海面が今より120m下がったといわれています

約13万年前(最終間氷期)



温暖で海面が上昇した時、岩盤の上に海浜砂が堆積しました。その後、海面が下がり、土地の上昇もあり、今はその砂層の上の堆積物は、20mくらいの高さにあります。

海と河川

中位段丘と古砂丘

標高20m前後の台地が箱石から、かぶと山付近まで連なっています。これが中位段丘で、上に古砂丘砂をのせている所があります。もちろんその上に新砂丘砂ものっています(ここでは省略)。

平野

最終氷期から現在までの堆積物。小天橋の砂洲と新砂丘も。

丘陵と山地

花崗岩や新生代中新世の火山岩と地層が丘陵と山地をつくる主な岩石です。海岸の岩場や沖の小島にもあります。

制作: 山陰海岸ジオパーク推進協議会

クイズの答え

【答え: カキ】久美浜湾は小天橋と呼ばれる砂洲によって日本海と隔られている汽水性の潟湖です。カキが成長するために必要なプランクトンも多く、養殖に適した条件を備えています。